

シンプルリモコンセット 138-R040型 増設リモコン 138-R003型

危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガスにご連絡ください。



もくじ

●各部のなまえとはたらき	1
浴室リモコン	1
台所リモコン	2
増設リモコン	3
●安全上のご注意	4
●お使いになる前の準備	6
初めてお使いのとき	6
●給湯を使う	7
給湯温度を調節する(台所・浴室リモコン)	7
給湯温度を調節する(増設リモコン)	9
優先スイッチの使いかた	11
●お風呂にお湯を入れる	13
自動運転でお風呂にお湯を入れる	13
湯はりの湯量を調節する	16
お風呂の温度を調節する	17
●お風呂に入って操作する	18
お風呂をあつくる(おいだき)	18
お風呂をぬるくする	19
お風呂のお湯をふやす	20
浴室から人を呼びたいとき	21
●便利な使いかた	22
リモコン表示を節電する(セーブモード)	22
保温時間の設定	24
台所・浴室リモコンの操作音の切り替え	24
増設リモコンの操作音を消す	25
●知っておいてください	26
故障かな?と思ったら	26
熱源機移設後の再設定	27
アフターサービスについて	28

ご愛用の皆さまへ

このたびはリモコンをお買い上げいただきましてありがとうございます。どうぞごさいます。

- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくお使いください。
- ご使用の熱源機本体の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 取扱説明書は、いつでも使用できるよう大切に保管し、使用方法が分からなくなったときにお読みください。
- この製品は国内専用です。

U284-416 (00) J
140500



060 00012 52940 1



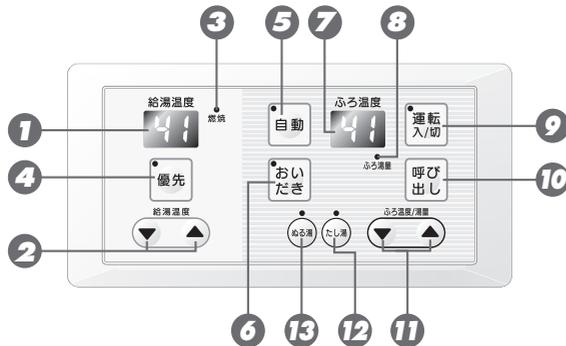
植物性インキを使用しています



各部のなまえとはたらき

浴室リモコン

- 浴室に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ビッ」という操作確認音でお知らせします。また、呼び出しスイッチを押すと台所リモコンのブザーが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。
- スイッチを操作した場合は、各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



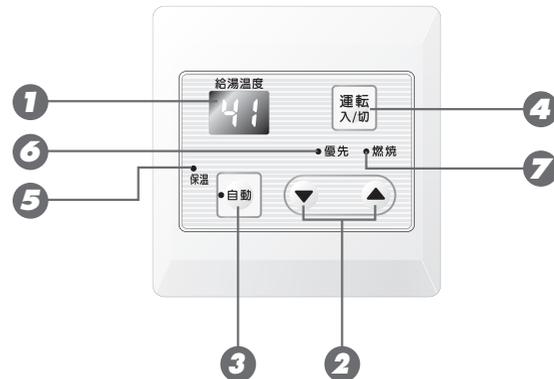
- 1 給湯温度表示**
給湯温度を表示します。
- 2 給湯温度スイッチ**
給湯温度を変えるときに押します。また、その他の設定を変えるときにも使います。
- 3 給湯/ふろ燃焼ランプ (赤)**
熱源機が燃焼しているときに点灯します。
- 4 優先スイッチ/ランプ (オレンジ)**
給湯温度の優先権を切り替えるときに押します。優先スイッチのランプが点灯しているときだけ、給湯温度を変更することができます。(11 ページ参照)
- 5 自動スイッチ/ランプ (赤)**
お風呂に湯りをするときに押します。(13 ページ参照)
- 6 おいだしスイッチ/ランプ (黄緑)**
お風呂のおいだしをするときに押します。(18 ページ参照)
- 7 風呂温度表示**
お風呂の温度のめやすを表示します。湯り開始時は、約 10 秒間湯量 (湯量を 10 で割った数字: リットル) を表示します。(16 ページの表参照)
- 8 風呂湯量ランプ (黄緑)**
自動 (湯り) スイッチを押すと、約 10 秒間点滅します。
- 9 運転スイッチ/ランプ (黄緑)**
お湯を使うときやお風呂に湯りをするときは「入」(表示画面・運転ランプ: 点灯) にします。もう一度押すと「切」になります。どのリモコンでも「入」「切」しても、すべてのリモコンの表示画面と浴室リモコンの運転ランプは同時に「点灯」「消灯」します。
- 10 呼び出しスイッチ**
押すと台所リモコンのブザーが鳴ります。(このスイッチにランプはありません)(21 ページ参照)
- 11 風呂温度/湯量スイッチ**
お風呂の設定温度を変えるときやお風呂への湯り量の設定を変えるときに使います。(16・17 ページ参照)
- 12 たし湯スイッチ/ランプ (黄緑)**
お風呂のお湯をふやしたいときに押します。(20 ページ参照)
- 13 ぬる湯スイッチ/ランプ (黄緑)**
お風呂のお湯をぬるくしたいときに押します。(19 ページ参照)

お願い

- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ビッ」という操作確認音を確認してください。

台所リモコン

- 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ビッ」という操作確認音でお知らせします。
- スイッチを操作した場合は、各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



- 1 給湯温度表示**
給湯温度を表示します。
- 2 給湯温度スイッチ**
給湯温度を変えるときに押します。
- 3 自動スイッチ/ランプ (赤)**
お風呂に湯りをするときに押します。(13 ページ参照)
- 4 運転スイッチ**
お湯を使うときやお風呂に湯りをするときは「入」にします。もう一度押すと「切」になります。どのリモコンでも「入」「切」しても、すべてのリモコンの表示画面と浴室リモコンの運転ランプは同時に「点灯」「消灯」します。
- 5 保温表示ランプ (黄緑)**
お風呂のお湯を保温中に点灯します。
- 6 優先ランプ (オレンジ)**
このランプが点灯しているときだけ給湯温度を変更することができます。
- 7 給湯/ふろ燃焼表示 (赤)**
熱源機が燃焼しているときに点灯します。

お願い

- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ビッ」という操作確認音を確認してください。

運転
入/切

各部のなまえとはたらき

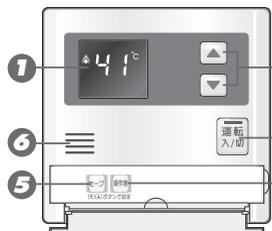
運転
入/切

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらき

増設リモコン(スイッチ) 138-R003

- 洗面所などにこのリモコンを取り付ければ、手もとで給湯温度を変えることができます。



- 1 表示画面**
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。
- 2 給湯温度スイッチ**
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。
- 3 運転スイッチ/ランプ(黄緑)**
お湯を使うときは「入」(表示画面・運転ランプ点灯)にします。
- 4 操作音スイッチ**
操作音を消すときに使います。(25ページ参照)
- 5 セーブスイッチ**
画面表示の節電設定を行うときに使います。
(23ページ参照)
- 6 スピーカー**
ここから音が出ます。

お願い

- スピーカーの穴に水滴が入ると、音が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ヒツ」という操作確認音を確かめてください。

増設リモコン(表示画面)

- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



- 1 優先表示(オレンジ)**
この表示が点灯中は給湯温度が変えられます。
- 2 凍結予防表示**
機器が自動的に凍結予防運転を行っているときに点灯します。
- 3 高温表示(赤)**
給湯温度が60℃に設定されているとき点灯します。
- 4 保温表示**
お風呂のお湯を保温中に点灯します。
- 5 故障表示**
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。(26ページ参照)
- 6 給湯・ふる温度表示(単位℃を含む)**
給湯温度のめやすを表示します。
ふる温度設定時はふる設定温度を表示します。
- 7 燃焼表示(赤)**
機器が燃焼しているときに点灯します。

安全上のご注意

熱源機を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

内容の区分

表示	 警告	お願い
意味	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。	この表示は熱源機を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事柄を示しています。

絵表示の意味

	一般的な警告		火災注意		一般的な禁止
	触れないこと		ぬれ手禁止		分解禁止
	必ず行うこと		電源プラグをコンセントから抜く		必ずアース線を接続する

警告

改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わないでください。改造は一酸化炭素(CO)中毒などのおそれがあります。また、火災の原因になります。



やけど防止のため

- はじめのお湯は手や体にかけない。
お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用して給水圧が下がったとき、あるいは万が一熱源機の故障の際には、熱いお湯が出ることがあります。
- 給湯使用時は給湯栓が熱くなるのでやけどに注意する。
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。
突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。
- 手のひらで湯温を十分に確認する。
・シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。
やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけないでください。
・入浴時、おいだき中やおいだき後は、浴槽の上部と下部で湯温に差がある場合があります。
十分にかき混ぜてから、手で湯温を確認してください。
・給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。
このような場合は湯量を多めにしたり、必要に応じて水を混ぜてから湯温を確認してお使いください。



1 運転入時

安全上の注意

安全上のご注意

お願い

リモコンの取り扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。また、台所リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因となります。
- お子さまがいたすらないよう、注意してください。
- 炊飯器、電気ポットなどの蒸気や温風をあてないようにしてください。故障の原因となります。
- リモコンは乱暴に扱わないでください。故障の原因となります。



リモコンの設置場所について

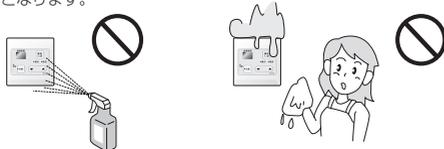
- 室温が55℃を超えるサウナなどへは取り付けしないでください。(5～55℃の範囲で使用してください)故障の原因となります。
- 浴室リモコンのみや台所リモコンのみでの単独使用はできません。必ずセットでご使用ください。

リモコンからテレビやラジオを遠ざけてください

- テレビやラジオはリモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。画像や音声が入ることがあります。

お手入れの際の注意

- けがには十分ご注意ください。
- 台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつかます。
- 台所リモコンに洗剤をかけたり、水洗いしたりしないでください。また、台所リモコンの周りの壁にかけて垂れた洗剤や水はリモコンにかからないように拭きとってください。リモコンに洗剤や水が浸入して、故障の原因となります。



別売部品について

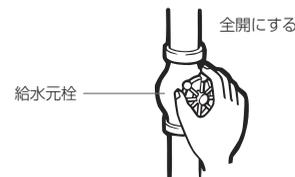
- 別売部品は当社指定品以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。

お使いになる前の準備

初めてお使いのとき

1 給水元栓を全開にする。

給水元栓は熱源機の下部にあります。



2 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める。

給湯栓はお湯の使用場所にあります。すべての給湯栓について確認してください。
※ サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にした状態で確認してください。



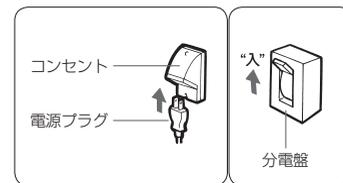
サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご確認ください。

3 電源プラグをコンセントに差し込み、分電盤のスイッチを「入」にする。

コンセントは熱源機付近の壁などにあります。分電盤の専用スイッチを「入」にしてください。

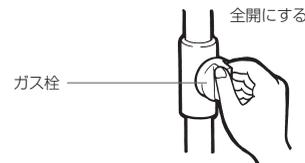


ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。



4 ガス栓を全開にする。

ガス栓は熱源機の下部にあります。



取付工事が必要

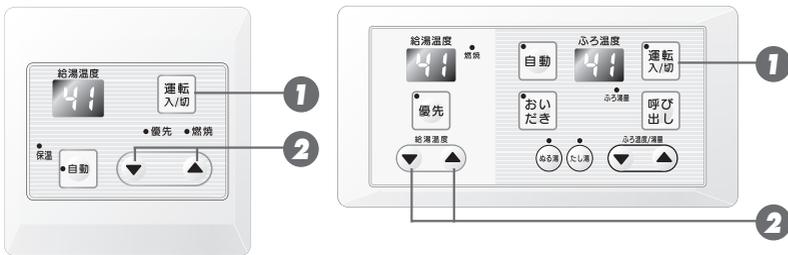
お使いになる前の準備

給湯を使う 給湯温度を調節する(台所・浴室リモコン)

●どのリモコンでも操作できます。

台所リモコン

浴室リモコン



1 リモコンの給湯温度表示が点灯していることを確認する。

- 点灯していない場合は、**燃焼**を押します。**燃焼**を「入」にしたリモコンには優先ランプ(台所リモコン)または浴室リモコンの**燃焼**のランプ(オレンジ)が点灯します。

2 ▲または▼を押して、給湯温度を設定する。

- ▲を押すと、温度が上がります。
- ▼を押すと、温度下がります。
- ▲を押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたときはスイッチを1回ずつ押してください。

表示/補足

台所リモコン



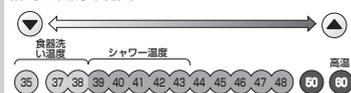
優先

浴室リモコン



優先

給湯温度調節範囲



台所リモコン



浴室リモコン



※調節できる温度は35℃～60℃の範囲(15段階)です。1回スイッチを押すごとに1段階ずつ変わります。上図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。

※低い給湯温度に設定した場合、給水温度の高い条件では設定温度よりも熱いお湯が出ることがありますが異常ではありません。

※優先権のあるリモコンでのみ設定できます。(11ページ参照)

お知らせ

- 給水温度が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。
- お買い上げの際には、お湯の温度を42℃に設定してあります。
- 給水温度が高い場合は、リモコンの給湯温度表示よりも熱いお湯が出ることがあります。
- おふろへ湯はり中は、リモコンの表示とは異なるお湯の温度のお湯が出ることがあります。
- リモコンの**燃焼**「入」「切」や給湯栓の開閉時または給湯使用後しばらくすると、モーターが動く音が出ることがありますが、これは再使用時の点火をより早くし、お湯の温度を早く安定させるために熱源機が作動している音で異常ではありません。
- 給湯やシャワー使用時に、おいただき配管に残っていた水が循環アダプターから出てくることありますが、異常ではありません。
- 停電復帰時は**燃焼**が入っていない状態になり、その後**燃焼**を入れたリモコンに優先が移ります。このとき、それぞれのリモコンの温度設定は停電前と同じ設定です。

- 給湯栓を開けるとお湯が出ます。
- ※お湯を使っている間は、燃焼ランプ(赤)が点灯します。
- ※湯量を絞るすぎる(毎分約2リットル以下にする)とバーナの火が消えます。

混合水栓使用時のご注意

- サーモスタット式水栓をご使用の場合、水栓によってはハンドルの設定よりぬるいお湯が出ることがあります。その場合は、リモコンの給湯温度をハンドルの温度より5℃～10℃高めに設定してください。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。
- 運転が「切」の状態でも水を使用する場合は、必ずハンドルの設定を「水」の位置にしてください。「湯」の位置で水を流すと、熱源機内が結露して点火不良や故障の原因になります。

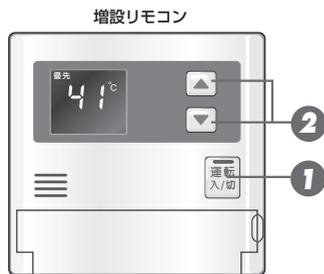


警告

- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- おふろ(特にシャワー)の使用中は絶対にリモコンの**燃焼**を「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
- やけど防止のため、おふろ(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこのリモコンの給湯温度の▲または▼で決まります。

※リモコンの**燃焼**が「切」の状態でも水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、熱源機内が結露して点火不良や故障の原因になります。

給湯を使う 給湯温度を調節する (増設リモコン)

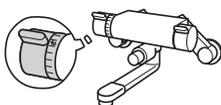


1 運転入/切 を「入」にし、優先表示が点灯していることを確認する。

※点灯しないときは11ページをご覧ください。

2 ▲ または ▼ を押して、給湯温度を設定する。

- ▲ を押すと、温度が上がります。
 - ▼ を押すと、温度下がります。
 - ▼ または ▲ を押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたときはスイッチを1回ずつ押してください。
 - スイッチを押すとピッという操作確認音が鳴ります。
- ※サーモスタート式水栓をご使用の場合、水栓によってはハンドルの設定よりぬるいお湯が出る場合があります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度 (ハンドルの温度) より5~10℃高めにしてください。
- 詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。



サーモスタート式水栓の例

画面表示/補足



※調節できる温度は35~60℃の15段階です。
1回スイッチを押すごとに1段階ずつ変わります。
上図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。

※低い給湯温度に設定した場合、給水温度の高い条件では設定温度よりも熱いお湯が出ることもありますが異常ではありません。

※給湯設定温度を60℃にセットすると、表示画面に「高温」を表示して注意を促します。

※優先権のあるリモコンでのみ設定できます。
(11ページ参照)

画面表示/補足



- 給湯栓を開くとお湯が出ます。
- ※お湯を使っている間は、表示画面に右下図のような燃焼表示が出ます。
- ※湯量を絞りすぎる (毎分約2リットル以下にする) とバーナの火が消えます。

お知らせ

- お買い上げの際には、お湯の温度を42℃に設定してあります。
- 給水温が高い場合は、リモコンの給湯温度表示よりも熱いお湯が出る場合があります。
- おふろへ湯はり中は、リモコンの表示とは異なる温度のお湯が出る場合があります。
- リモコンの運転スイッチ「入」「切」や給湯栓の開閉時または給湯使用後しばらくすると、モーターが動く音が出ることがありますが、これは再使用時の点火をより早くし、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音で異常ではありません。

※高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出る場合がありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

警告

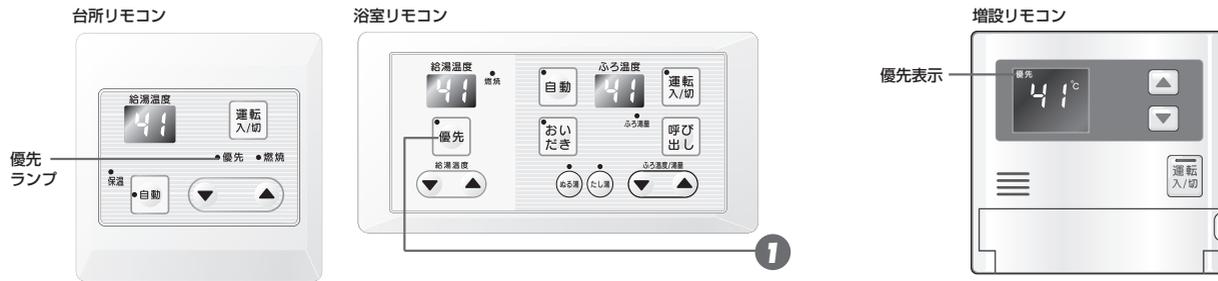
- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- おふろ (特にシャワー) の使用中は絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
- やけど防止のため、おふろ (特にシャワー) の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこのリモコンの給湯温度スイッチで決まります。

※リモコンの運転スイッチが「切」の状態の水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

給湯を使う 優先スイッチの使いかた

浴室と給湯配管先には、同じ温度のお湯を供給します。(1つの熱源機に接続されているすべてのリモコンで、常に同一の給湯温度を表示します)

お湯を使用中に他の人が給湯温度を変えると、お湯の温度が変わり、やけどをすることがあります。このような事故を防止するため、どちらか一方の権利のあるリモコンでしか温度を変えられないようになっており、この給湯温度を変更することができる権利を「優先権(優先)」と言います。(リモコンを2台設置の場合)



1 浴室リモコンの優先を押す。

- 優先のランプ(オレンジ)が点灯し、給湯温度を変更できる優先権を持つことができます。
- 優先を1回押すごとに、優先権が以下のように交互に切り替わります。
「浴室リモコン」 ↔ 「台所・増設リモコン」
- 優先権の表示
浴室リモコンが優先：
優先のランプ(オレンジ)が点灯します。

台所・増設リモコンが優先：

台所リモコンは優先ランプ(オレンジ)が点灯し、増設リモコンでは表示画面の優先表示が点灯します。

- 台所・増設リモコンで給湯温度の変更ができないときは、優先をいったん「切」にし、再度「入」にして、台所リモコンは優先ランプ(オレンジ)、増設リモコンでは表示画面の優先表示を点灯させます。

表示/補足



- 各リモコンは、それぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると、優先権を持ったリモコンの記憶していた温度が給湯温度になります。
- 運転「切」の状態から、「入」にしたときは、優先が押された側のリモコンが優先権を持ちます。
- 給湯温度の変更以外は、どのリモコンでも優先権に関係なく設定・使用ができます。

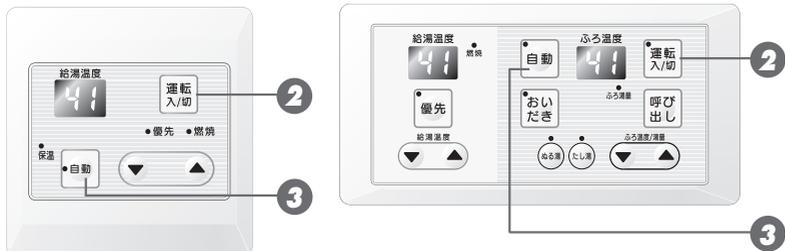
警告

- やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は優先権を切り替えないでください。

●浴室リモコンまたは台所リモコンで操作します。

台所リモコン

浴室リモコン



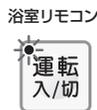
1 浴槽に排水栓とフタをする。



2 リモコンの給湯温度表示が点灯していることを確認する。

- 点灯していない場合は、を押します。

表示/補足



お知らせ

- お風呂の温度や湯はり量・保温時間の調節方法は、16・24ページをご覧ください。
- 自動湯はり中やおいだき中には循環アダプターから泡が出てくる場合があります。

3 を押す。

- のランプ(赤)が点灯し、湯はりを始めます。このとき右図のようにふろ湯量ランプが点滅し、ふろ温度表示部は約10秒間、湯量を表示します。
※湯量表示(湯量を10で割った数字:リットル)を表示します。湯量の変更方法は、16ページをご覧ください。
- 湯はりが終わるとブザー(ピピッ……)が鳴り、お知らせします。また、台所リモコンには保温ランプ(黄緑)、増設リモコンには保温表示が点灯します。
- 途中で止めたいときは、再度を押してランプ(赤)を消灯させてください。

お知らせ

- 給湯(シャワー)使用中に、湯はり運転すると、すぐに始まります。
- 湯はり運転中に給湯(シャワー)などを使用すると、湯はり運転は一時中断され、このとき給湯栓からふろ設定温度のお湯が出る場合があります。また、お湯の使用条件によっては、湯はりを中断しない場合もあります。給水温度や給水圧などの条件によっては、お湯が少ししか出ないことやまったく出ないこともありますが、機器の異常ではありません。

表示/補足



浴室リモコンのふろ温度表示部



- 保温中は、約30分(気温によって時間が変化します)ごとにお湯の温度をチェックして温度が下がっていれば自動的においだきします。この保温時間は24ページのお風呂の保温時間を変更する方法で決めます。
- 保温時間が終了すると、台所リモコンでは保温ランプ(黄緑)、増設リモコンでは保温表示が消え、のランプ(赤)も消えます。保温を途中で止めたいときは、を押してランプ(赤)を消灯させてください。
- 保温中にぬるく感じたときは、 (18ページ参照)を押すか、ふろ設定温度を上げてください(17ページ参照)。



ふろ設定温度で、設定湯量まで自動湯はり。

保温中は外気温と設定温度をチェックし、湯温が下がると自動おひたき。

「たし湯」スイッチを押すだけで、約20Lのお湯がたされます。

お知らせ

- ・排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、熱源機の故障ではありません。
- ・夏期など給水温度が高い場合は、設定湯量（水位）まで水はり後おひたき運転を行うことがあります。また、冬期など気温の低い場合では、ふろ設定温度まで沸き上げるのに時間がかかることがあります。
- ・お風呂の湯はり中に給湯（シャワー）を使用した場合、給水温度や給水圧などの条件によっては、給湯栓やシャワーからお湯が少ししか出ないことやまったく出ないこともあります。（熱源機の異常ではありません）給湯栓やシャワーからお湯が出た場合は、湯はりは一時中断されます。このとき給湯栓やシャワーからは、ふろ設定温度のお湯が出ることもあります。

残り湯がある場合の注意

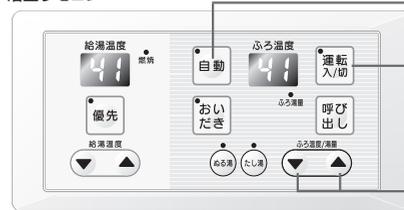
- 残り湯が十分あるとき
 - ・湯量が増え、お湯があふれることがあります。沸かし直しには、**おひたき**（18ページ参照）をお使いください。
- 循環アダプターがかかっているとき
 - ・水位が多少ばらつきます。また、残り湯が設定温度に近いときは、約6リットルだけ湯はりします。
- 循環アダプターの下にあるとき
 - ・新たに設定量の湯はりをします。残り湯分だけ湯量が増えますので、浴槽からのあふれにご注意ください。

お願い

- ・湯はり中に給湯栓から浴槽にお湯（水）を入れたり入浴したりすると、お湯があふれることがあります。自動運転の湯はり中は、他の給湯栓から浴槽にお湯（水）を入れしないでください。
- ・浴槽の残り湯を排水するときは、**おひたき**のランプ（赤）が消灯していることを確認してから行ってください。
- ・**おひたき**の「入」「切」を何度も繰り返さないでください。お湯があふれることがあります。
- ・保温中にお湯をもっとふやしたい場合は、**おひたき**（20ページ参照）を押してください。約20リットルのお湯をたします。

- 浴室リモコンで操作します。（台所・増設リモコンにはこの機能がありません）

浴室リモコン



- 1 **運転入/切**のランプ（黄緑）が点灯していることを確認する。

- 点灯していない場合は、**おひたき**を押します。

- 2 **自動**を押し、**▲**または**▼**を押して、ふろ湯量を変更する。

- 自動運転スタート（**自動** ON）時、約10秒間、ふろ温度表示部に湯量（湯量を10で割った数字：リットル）が点灯表示され、ふろ湯量ランプ（黄緑）が点滅します。この間に、ふろ湯量の**▲**または**▼**で湯はり量を変更できます。
 - 初期設定は、標準浴槽で200リットル、大浴槽では360リットルです。
 - ▲**：湯量が増えます。
 - ▼**：湯量が減ります。
- そのまま10秒経過すると、自動的に設定が完了します。

湯量のめやす

	普通浴槽設定		大浴槽設定	
	湯量表示	湯量(リットル)	湯量表示	湯量(リットル)
▲ を押すと ↑ 初期設定→ ↓ を押すと 減る	99	990	70	700
	40	400	65	650
	35	350	60	600
	30	300	55	550
	28	280	50	500
	26	260	45	450
	24	240	40	400
	22	220	38	380
	20	200	36	360
	18	180	34	340
16	160	32	320	
14	140	30	300	
12	120	28	280	
10	100	26	260	
8	80	24	240	
6	60	22	220	

表示/補足



- 湯量とは、浴槽に湯はりするお湯のめやすの量をいいます。
- 工場出荷時には、普通浴槽の設定で200リットルになっています。
- お子さまのいたずらなどを防止するため、普通浴槽設定の場合、400リットルや990リットルおよび80リットルや60リットルに設定するときには、**▲**または**▼**を1秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。大浴槽設定の場合の550リットル以上にすることも同様です。
- 普通浴槽⇄大浴槽の設定は、熱源機本体で切り替えます。切り替える場合はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。工場出荷時は普通浴槽設定になっています。
- 浴槽の大きさが340リットルを超える場合、浴槽内の温度分布がばらつくことがあります。

●浴室リモコンで操作します。(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)

浴室リモコン



1 **運転入/切**のランプ(黄緑)が点灯していることを確認する。

- 点灯していない場合は、**電源**を押します。

2 **▲**または**▼**を押して、**ふろ温度**を設定します。

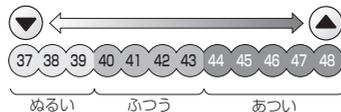
- 表示画面にふろ温度が点灯します。
工場出荷時は42℃に設定されています。
- ▲**を押すと、温度が上がります。
- ▼**を押すと、温度が下がります。
- ▲**を押し続けると、45℃以下の設定では連続で示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。

表示/補足

ふろ温度
41

ふろ温度設定範囲

※ 温度表示はめやすです。



※ 設定できる温度は37℃～48℃の12段階です。
1℃きざみで1回スイッチを押すと1℃変わります。

●浴室リモコンで操作します。(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)

浴室リモコン



1 **運転入/切**のランプ(黄緑)が点灯していることを確認する。

- 点灯していない場合は、**電源**を押します。

2 浴槽の循環アダプターの上までお湯(水)が入っていることを確認する。

表示/補足



3 **おいだき**を押す。

- おいだき**のランプ(黄緑)が点灯し、おいだきを開始します。
- ※おいだきはふろ温度にかかわらず約5分間(ふろ給湯器は約3分間)行いますので、ふろ設定温度以上になる場合があります。
- 途中で停止したいときは、**電源**を押してください。**おいだき**のランプが消灯します。

お願い

おいだき運転時には、循環アダプターから泡が出てくる場合があります。また循環アダプターからはあつのお湯が出てきますので身体などに直接あてないようにしてください。

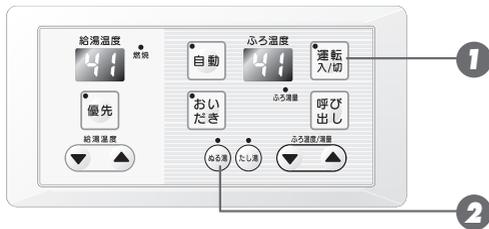
お知らせ

循環アダプターの上までお湯(水)が入っていないときに**おいだき**を押すと…

・浴槽に約6リットル湯はりし、約10分間ポンプ運転した後、リモコンに「632」エラーが点滅して停止します。

●浴室リモコンで操作します。(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)

浴室リモコン



1 **運転入/切**のランプ(黄緑)が点灯していることを確認する。

- 点灯していない場合は、**運転入/切**を押します。

2 浴室リモコンの**ぬる湯**を押す。

- ぬる湯ランプ(黄緑)が点灯し、ぬる湯運転を開始し、浴槽に約10リットル注水します。
- 途中で停止したいときは、**ぬる湯**を押します。ぬる湯ランプが消灯します。

お知らせ

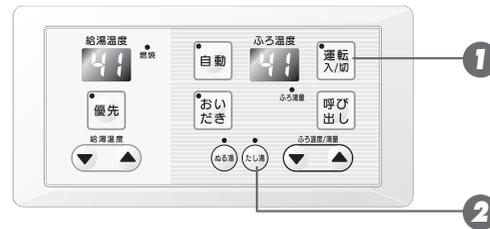
- 給湯(シャワー)使用中に、ぬる湯運転すると、すぐには始まりず、給湯を止めた後に始まります。
- ぬる湯運転中に給湯(シャワー)などを使用すると、ぬる湯運転は一時中断します。また、給水温度や給水圧などの条件によっては、お湯が少ししか出ないことやまったく出ないことがあります。機器の異常ではありません。
- ぬる湯運転中、循環アダプターから泡が出ることがあります。

表示/補足



●浴室リモコンで操作します。(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)

浴室リモコン



1 **運転入/切**のランプ(黄緑)が点灯していることを確認する。

- 点灯していない場合は、**運転入/切**を押します。

2 浴室リモコンの**たし湯**を押す。

- たし湯ランプ(黄緑)が点灯し、たし湯運転を開始し、浴槽にふる設定温度のお湯約20リットルを湯はりします。
- 途中で停止したいときは、**たし湯**を押します。たし湯ランプが消灯します。

お知らせ

- 給湯(シャワー)使用中に、たし湯運転すると、すぐには始まりず、給湯を止めた後に始まります。
- たし湯運転中に給湯(シャワー)などを使用すると、たし湯運転は一時中断され、このとき給湯栓からふる設定温度のお湯が出る場合があります。また、お湯の使用条件によっては、たし湯を中断しない場合もあります。給水温度や給水圧などの条件によっては、お湯が少ししか出ないことやまったく出ないことがあります。機器の異常ではありません。
- たし湯運転中、循環アダプターから泡が出ることがあります。

表示/補足



- 浴室リモコンで操作して台所・増設リモコンの呼び出し音を鳴らすことができます。

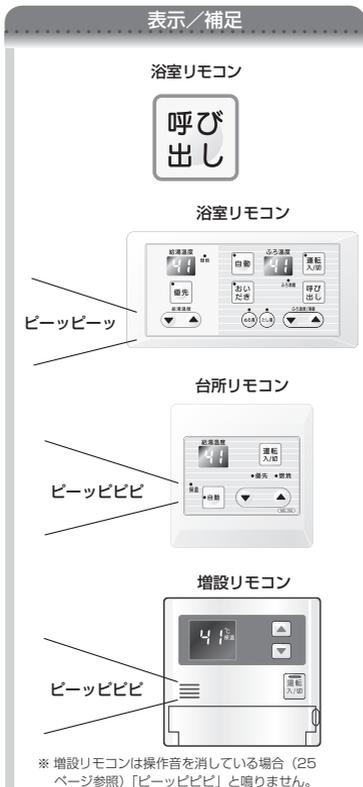
浴室リモコン



- 運転**が「入」「切」どちらの状態でも、呼び出し操作ができます。

1 浴室リモコンの**呼び出し**を押す。

台所リモコンおよび増設リモコンのスピーカー：
「ピーッピビ」と5回鳴ります。(浴室リモコンのスイッチを押し続けると、連続して鳴ります)
浴室リモコンのスピーカー：
呼び出しを押している間「ピーッピビ」と鳴ります。



※ 増設リモコンは操作音を消している場合(25ページ参照)「ピーッピビ」と鳴りません。

- 浴室・増設リモコンで操作します。(台所リモコンにはこの機能がありません)

浴室リモコン



- 浴室リモコンの待機時消費電力を低減します。
- 初期設定は、セーブモードは「入」です。

1 **運転入/切**のランプ(黄緑)が点灯していないことを確認する。

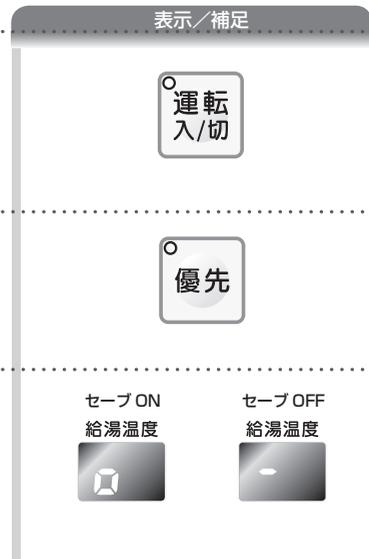
- 点灯している場合は、**運転**を押します。

2 **優先**を長押しする。(3秒)

- ピッと確認音が出て、給湯表示部が変わります。

3 ▲または▼を押して、切り替える。

- セーブ ON 「o」、セーブ OFF 「-」を給湯表示部に表示します。
- 約 10 秒後、自動的に解除、設定されます。

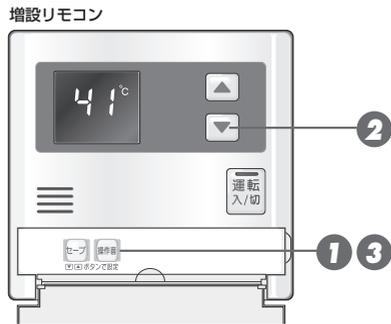


お知らせ

- リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、給湯を使用してから約 25 分たつと表示画面が消えて、**運転**のランプ(黄緑)のみ点灯します。浴室リモコンに優先権がある場合は、**優先**のランプ(オレンジ)も点灯します。ただし、給湯栓を 1 度も開けていない状態では、表示画面は消えません。1 度給湯を使用してください。熱源機を再使用したり、**呼び出し**以外のいずれかのスイッチを押すと、表示画面が再び点灯します。
- ※ ▲▼**運転**以外のスイッチを押すと、表示画面が再び点灯するとともに、押したスイッチの動作が開始されます。
- 湯はり運転中および給湯温度を 60℃に設定している場合は、安全のため表示の節電(セーブモード)機能は働かせません。
- 停電が復帰したときは、セーブモードは初期設定に戻り、「入」になります。

■操作音を消す(増設リモコン)

- 増設リモコン 138-R003型で操作します。
増設リモコンの操作音を消音したいときに使用します。



- 運転入/切**が「入」「切」どちらの状態でも設定できます。

1 増設リモコンのフタを開け、

操作音を押す。

- 表示画面に「0n」または「OFF」が表示されます。

画面表示/補足

操作音



※「OFF」になっている場合はすでに音を消した設定になっています。

2 「0n」になっている場合は、

▲または**▼**を押して「OFF」にする。

- 「OFF」にしたときは「ビッビッ」と鳴り、
- 「0n」にしたときは「ビッビビ」と鳴ります。

3 **操作音**を押す。

- 設定が完了します。
- 設定を解除するときは**1**～**3**の操作で「0n」にします。

※**操作音**を押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。

故障かな?と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。修理を依頼する前に熱源機本体の取扱説明書「故障かな?と思ったら」をご覧ください。熱源機が故障すると給湯・ふる温度表示部に下図のような故障表示が点滅し、浴室リモコンは^{熱源機}のランプ(黄緑)も点滅します。

- 故障表示の例



故障表示の3けたの数字のうち左側2けたは給湯温度表示部に、残りの1けたはふる温度表示部に表示されます。したがって台所リモコンには、3けたのうち左側2けただけが表示されます。

故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

- 1 ガス栓と給水元栓が十分開けてあるか確認します。

全開にする
ガス栓 給水元栓
熱源機の下部
- 2 お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。

全閉にする
- 3 **運転入/切**を「切」にして、再び「入」にします。
- 4 再び使用してみてください。

- 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。
- 130を表示しているときは、すぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 101・102・103を表示しているときは、給湯・ふる・暖房を使うことはできませんが、給排気異常により十分な給湯能力が出ない状態となります。また、380・888・920を表示している場合についても、しばらくの期間は給湯・ふる・暖房を使用できますが、気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- マイコンメーターのガス漏れ監視機能を有効に活用させるため、013が点滅したら、すべてのガス機器(テーブルコンロやファンヒーターを含む)のご使用を1時間停止してください。一定時間、ご使用停止が確認できると013の点滅は消えます。

